

会 議 録

会議の名称	平成27年度第8回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成28年3月14日（月）午後7時00分～9時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	本間雄一委員、長ヶ原美博委員、吉田廣子委員、 小森重紀委員、搦木道代委員 事務局（主査）
欠席者	武田秀規委員、田尻 円委員、関口敬氏委員、岩村沢也委員、 千葉純平委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	1. 協議事項 （1）社会教育関係団体への補助金交付について （2）第14回富士見市民意識調査の分析について 2. 報告及び連絡事項 （1）地域や所属団体などについての情報交換
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会

○議長あいさつ

1. 協議事項

(1) 社会教育関係団体への補助金交付について

【事務局】

来年度、教育委員会から補助金を交付する団体が4団体ある。

① 子ども大学ふじみ開催補助金 子ども大学ふじみ実行委員会へ交付予定

補助予定額：820,000円

昨年度は340,000円を補助したが、来年度は開設5周年ということで820,000円を交付する予定。

次の②～③は、これまで委託金として支払っていたが補助金的な要素が強かったため来年度から補助金として交付する予定である。

② 人権教育推進事業補助金 富士見市人権教育推進協議会へ交付予定

補助予定額：300,000円

③ 地域連携学習支援事業補助金 富士見市PTA連合会へ交付予定

補助予定額：140,000円

④ 市民人材バンク推進事業補助金 富士見市市民人材バンク推進員の会へ交付予定

補助予定額：80,000円

【委員】

子ども大学は5周年ということだが、今後も続いていくのか。

【事務局】

来年度は5周年という事で予算を大幅に確保したが、再来年度はおそらく従来の予算に戻り継続していく。

【議長】

社会人権指導者養成講座は教育は校長先生が持ち回りでやっているのか。

【事務局】

そう、各学校3年に1回行っている。

【議長】

本郷中学校でも行ったが校長先生が直接講義をしてくれるのは大変興味深かった。ただし集客の方法については一考必要かもしれない。

【委員】

法律も変わり、今は同和問題だけでなく色々な人権課題が上がってきている。

【議長】

何処にスポットを当てるかが大事だと思う。子どもの人権としてインターネットや携帯電話についても学ぶ必要がある時代である。

【議長】

今年度は市P連へは委託金として支払われた。その委託事業で教育相談室について取り組んだ。参加者に聞いたら教育相談室を初めて知った、という保護者が結構いて有意義な講座になった。

【委員】

子ども大学という事業は地域に浸透しているのか。良い講座をたくさん行っているが近所に参加している子どもがいない。

【事務局】

年度当初に各小学校4～6年生全員にチラシを配布している。

【議長】

実行委員は集まっているか。

【事務局】

公募の方もおり微増である。

【委員】

定員が60人という事だがどのように選んでいるのか。

【事務局】

学校、男女比等が偏らないようにしながら抽選を行っている。

【議長】

子ども大学5周年記念事業については何かあったら情報をいただきたい。

(2) 第14回富士見市民意識調査の分析について

【事務局】

前回会議の中で意識調査に関するデータや資料について提供していただきたいというご意見をいただいた。

男女共同参画に関する市の考え方について本日は冊子を配布している。市では男女共同参画についてかなり広く捉えている。各課で男女共同参画についてビジョンを持って取り組んでおり、前回この席で出た男女の雇用については産業振興課が取り組んでいる。子育て、健康づくりなど各課で様々な事に取り組んでいる。

貧困率について、市内で片親の世帯数についてのデータを出してほしいという要望だったが、調べたが分からなかった。昨年行った国勢調査では家族構成についての調査があるが、その結果についてはまだまだ公表されていない。また、家族構成は出ていても、果たして片親かどうかは分からない。

19歳までの子どもが生活保護世帯は別紙のとおり。地域によって世帯数に違いがあるの分かる。

【委員】

他市町村と比較できると良いのだが。

【事務局】

子どもの自己肯定感に関しては、「子どもへの望ましい関わり方」の後ろから3枚目に出ている。ただ他市町等との比較データが無いので分かりにくいのだが。

経済格差とか貧困率を出せないのかという意見もあったが、貧困率を出すのはそう簡単ではない。国でも調査を行っているが、調査によっても数値が違っていたり中々難しい面がある。

【委員】

データが集まりにくいのだと思う。貧困世帯が調査の回答をしてくれないのだろう。出してくれるところは大体真ん中位の世帯らしい。

【事務局】

市でも住民基本台帳や所得状況を把握している部分もあるが、そういうデータをつくる事には使用する事ができない。貧困率を出す場合は統計調査を行う必要がある。そのため富士見市だけの貧困率を出すことはかなり難易度が高い。

来年度、市の子育て支援課が「子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業」を新規で行う。子ども貧困対策について国でも力を入れているのだが、市でも横のつながりを密にするために支援のネットワーク化を図る。教育委員会としても子どもへの学習支援や親への学習機会の提供などを考えている。なお事業の一環として子育て支援課で公的援助を受けている世等に対して実態調査を行う予定である。改めて貧困率の調査を行うのは難しいので、子育て支援課で行う実態調査を生かす方向で考えてはどうか。ただ調査結果が出るのが秋ぐらいになるだろう、とのこと。

【委員】

民生委員は担当地区の中でどのような世帯があるかを把握している。その中でも主任児童委員は子どもがいる様々な世帯についてデータを持っている。子どもの貧困は子育てへの不安感や健康上の理由、孤立感などでも出てくる。そのような世帯は給食費も払わないでその他の事に使ってしまう事がある。今までは民生委員や主任児童委員が給食費の支払い状況について聞いて回っていた。今は引き落としになったが。なので少しずつ小さい地域ではあるが調査は行っている。統計調査とは違うかもしれないが。

【議長】

P T A会長でも給食費の問題については関わるが、回収できていない場合というのは、特殊事情というのがある。その特殊事情というのは不登校であったり。給食費だけを払っていないのかと思えば、学校のお金自体を払っていない場合もある。我々は表面的にP T A会費や給食費しか知らなかった。数を聞いてびっくりした。

【委員】

以前、川越では生活保護の受給日に給食費を貰いに行ったが、親を説得するのが大変だった。それから給食費や教材費を別に直接振り込んでもらうようにした。

【議長】

給食費を払っていないからと言って、子どもに給食を食べさせないわけにはいかない。修学旅行や林間学校、卒業アルバムなども同じ。そうすると給食費を払っていない分は全体の給食のクオリティを下げる方向につながっている。デザートを一品減らすなど。だから給食費を払っている世帯への影響も少なからずある。同時に地産地消の推奨や残飯の問題などPTAも関心を抱いている問題ではある。それが貧困の問題なのか意識の問題なのか分かれる問題でもある。

【委員】

振込よりも現金集金のほうが集まりやすく、わざわざ現金集金に替えた市町村もある。

【事務局】

そのような状況の中で社会教育委員会議の中で何をテーマにするか。

【議長】

平成25年度「教育に関する親子意識調査」でも学校に関する子どもへの心配として、将来の費用が出ている。貧困に限らず男女協働という事で女性が働きやすい環境が市の中で整っているか、それと学校教育に影響を与える経済的な事、それらをテーマとしたらどうか。経済的な面でどれだけ過ごし易い市なのか。

踏み込みにくい部分ではあるので、あえてそこを拾い上げて社会教育委員としてのコメントを出していく。それが何かの参考になって、市の支援のきっかけになれば、それはそれで良いのだが。

【議長】

地区体育祭のお金はどこから出ているのか。

【事務局】

あれは生涯学習課のスポーツグループが担当している。

【議長】

以前、お話ししたように地区体育祭の中に防災的な要素を取り入れるようにしてみるなど。

【委員】

以前もお話ししたが諏訪小での地区体育祭はリレーから担架リレーに変わった。

【議長】

実際にプログラムを組むのはスポーツ推進員の方々だったりすると思うが、何かそのような形で提案できればと思う。

【事務局】

そのテーマであればかなり具体的ではあるので、どのようは事例があるとか、なぜそれが必要かなど形にしやすと思う。

【委員】

地区体育祭は各地区からの代表だから防災訓練もその同じ地区でやるから良いと思う。

【委員】

保存用のお米も消費期限があるのでそういのを使っておにぎりを用意したり。そうしたら保存用のお米の炊き方も分かると思う。

【議長】

他の市町で取組易くて役に立つ事例を見つけると良いと思う。名簿も作らないとならない。個人情報の問題もあるけど地区体育祭だけで顔を合わせる人がいる。地区体育祭で輪を広げるという意味でも。

【委員】

水谷は地区体育祭はPTAも育成会も声がかかるが、防災訓練を始めとした町会関係の事は育成会が多い。

水谷地区は昨年からまちづくり協議会ができた。防災訓練とまちづくり協議会が並行しているような感じ。5町会の町会長が両方の役員を兼ねている。ふたつの組織がやっと出来上がった状態なので、ここで防災訓練と体育祭をくっつけるのは難しいと思う。

うちの地区の事だけで言えば、防災訓練はまちづくり協議会が取り組んでいる。まちづくり協議会は協働推進課から予算が出ていて、地区体育祭は生涯学習課から予算が出ています。予算の割り当てられ方が違っている。そうなるくと担架リレーひとつ入れるとしても難しい面もあると思う。

【議長】

結局、地域性もあるが防災訓練をやっても人が集まりにくという現状がある。地区体育祭は人が集まっているのでその時間帯を利用して少しでも取組めれば良いと思う。他市町の事例もあるのでそういのも参考にしながら。

PTAでも話が出るが、防災教育というのが進んでいない。訓練はやっても基礎知識が得られていない。

【事務局】

ひとつのテーマとしてはこの防災について取り組む方向で考える。場合によっては他市町の取組として視察へ行ったり講師を招いて勉強会を行っても良いと思う。

【委員】

別角度で伺いたい。
なぜ富士見市には公立の幼稚園が無いのか知りたい。公立を設置しない理由を知りたい。

【委員】

以前幼稚園で保護者会の会長をやっていた時に聞いたのだが、教育の法律が下が小学校から、となっていたのがここ数年で幼稚園から、と変わったらしい。

【議長】

行政の設置義務が法律に基づいて、義務教育である小学校、中学校を設置しているということか。

【委員】

市の長い歴史の中で幼稚園を設置しようとならなかったのか。

【事務局】

その辺の事については調べてみる。

【委員】

なぜ知りたいかというところと女性の社会進出について、そういった所があると社会復帰しやすというのがあるので。

【議長】

もともと意識調査から始まって、小森さんの提案があつて男女協働という事でここに辿り着いているので、経済的な事での結び付きというのは全然見当はずれではないと思うので、男女共同というところのテーマで良いと思うので引き続き、研究をしていきたい。小森さんの方でもまた資料を見ていただき感想等をいただければありがたい。

【委員】

子育て支援課が行う実態調査の結果が出た段階で、意識調査との比較で何か見えるかもしれないので、そちらも待っていた方が良いと思う。

2. その他

次回以降の会議日程

第9回会議 日程：平成28年4月19日（火）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

第10回会議 日程：平成28年5月20日（金）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

4. 閉会 ○副議長あいさつ

(閉会)

